

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会式典実施計画作成等業務委託仕様書

1 内容

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会式典実施計画作成等業務委託

2 契約期間

契約締結日から令和3（2021）年3月19日（金）まで

3 目的

令和4（2022）年に栃木県で開催する「第77回国民体育大会」（以下「いちご一会とちぎ国体」という。）及び「第22回障害者スポーツ大会」（以下「いちご一会とちぎ大会」という。）について、諸計画や演出等について具体的な内容を定める「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会式典実施計画」（以下「式典実施計画」という。）を作成する。

4 通則

- (1) 受託者（以下「乙」という。）は、本業務を実施するにあたり、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会（以下「甲」という。）と協議を行い、甲の承認を受けて作業を進めるものとする。
また、本仕様書に記載のない事項及び疑義が生じた場合には、甲と協議の上、その指示に従うものとする。
- (2) 乙は、本業務の趣旨を理解し、業務を進めることとする。

5 委託内容

本業務は、式典実施計画の作成、式典音楽の制作、式典演技（式典前演技、歓迎演技）の制作、式典専門委員会及びその下に設置した式典運営部会、式典音楽部会、式典演技部会の会議等への支援とする。

(1) 式典実施計画の作成

ア 別表1「式典実施計画掲載内容及び作成方法」に示す掲載内容及び作成方法を踏まえて作成すること。

イ 式典実施計画の作成に係る原案には、専門的、技術的なノウハウやアイデアを盛り込むこと。原案は、甲の承認を得るまで修正及び追加を行うこと。

ウ 原案については、式典実施計画の内容を具体化するための課題を洗い出した上で、費用やスケジュール面において実現可能な内容とすること。

エ オープニングプログラム、エンディングプログラム及びファイナルステージの内容は、甲と協議の上、構成、演目、展開及び出演者について式典実施計画に記

載すること。

(2) 式典音楽の制作

ア 式典音楽の制作については、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会式典音楽制作仕様書」のとおりとすること。

イ 制作した式典音楽の試奏会の実施については、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会式典音楽試奏会仕様書」のとおりとすること。

(3) 式典演技（式典前演技・歓迎演技）の制作

ア 甲と協議の上式典演技の演技テーマ、構成、展開、出演者、シナリオ、伴奏曲、振付イメージ（次年度以降に制作する振付の方向性を定めるもの）、服飾・手具・用具デザインイメージ等を制作すること。

イ 伴奏曲については、式典演技で使用する楽曲の曲調をイメージできる音源（以下「デモ音源」という。）・楽譜（最終的な楽曲及び音源の制作・完成は令和3（2021）年度を予定）を制作すること。

なお、伴奏曲の制作にあたっては、乙は作曲者・編曲者の候補を甲に提案し、甲と協議の上決定することとし、連絡調整に係る責任を負うとともに、本項に係る一切の経費を負担すること。

また、式典専門委員会、式典演技部会及び甲が確認・試聴できるよう、甲が別途指定する日までに、試作段階のデモ音源を提供すること。

加えて、伴奏曲については、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会において演技を実施するまで生じると予想される編曲を、甲の求めに応じて支障なく行うことができるように権利処理を行うこと。

ウ 振付イメージの制作にあたっては、振付者の候補を甲に提案し、甲と協議の上決定すること。

なお、乙は振付者との交渉、連絡調整に係る責任を負うとともに、これに要する経費の全てを負担すること。

また、式典専門委員会、式典演技部会及び甲が確認・試聴できるよう、甲が別途指定する日までに、試作段階の振付イメージ（図や映像等を活用すること）を提供すること。

加えて、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会において演技を実施するまでに具体化される振付の制作を行うために、甲が振付イメージについて別途対価を支払うことなく、かつ支障なく利用できるよう権利処理を行うこと。

(4) 式典専門委員会及び式典運営部会・式典音楽部会・式典演技部会会議等支援業務

ア 甲が開催する会議において、式典実施計画作成等を検討する上で必要となる資料（音響資料、カラー印刷資料、カラーイメージパース、図面等を含む。以下「会議等資料」という。）や情報を提供し、説明を行うほか、必要に応じて炬火イベント等の企画・提案を行うこと。

イ 下表の会議の中の甲の指定する回に出席し、各委員の意見を聴取すること。また、必要に応じて会議等資料の説明を行うこと。

会議	委員数	開催予定回数
式典専門委員会	19名	2回
式典運営部会	6名	3回
式典音楽部会	6名	3回
式典演技部会	6名	3回

ウ 甲が要求する会議等資料や情報の入手等に対応すること。

6 実施体制

「5 委託内容(1)～(4)」の業務については、式典統括責任者や演出家、その他ディレクター等必要に応じた企画・演出の責任者を設置し、甲と協議を行いながら進めること。

7 協議、打合せ等での説明

業務における協議、打合せ等は、業務着手時、中間報告（令和2（2020）年10月末を予定）及び成果品納入時のほか、甲が必要とした場合は、随時、進行状況に応じて行うものとする。協議、打合せにあたっては、甲の指示する資料及び情報の提供を行うものとする。

8 成果品等

(1) 成果品の製本方法

式典実施計画については、いちご一会とちぎ国体式典実施計画（以下「国体式典実施計画」という。）、いちご一会とちぎ大会式典実施計画（以下「障スポ式典実施計画」という。）、いちご一会とちぎ国体冬季大会式典実施計画（以下「冬季大会式典実施計画」という。）に分けて制作すること。様式等については、以下のとおりとすること。

【国体式典実施計画及び障スポ式典実施計画、冬季大会式典実施計画】

ア 様式

A4判横、横書き、カラーとし、図や写真を活用すること。

なお、ページ数は、国体式典実施計画及び障スポ式典実施計画は40ページ程度、冬季大会式典実施計画は20ページ程度とする。

イ 紙質

再生コート紙 つやあり 90 kg

ウ その他

全てのページに音声コードをつけること。音声コードの内容は甲と協議し、製

本した冊子には企画に対応した切欠き加工を行うこと。

【式典実施計画（概要版）】

ア 様式

A4判横、横書き（カラー4ページ）とすること。

イ 紙質

再生コート紙 つやあり 90 kg

(2) 成果品の納期

成果品の納期は以下のとおりとすること。

ア 国体式典実施計画、障スポ式典実施計画、冬季大会式典実施計画、式典実施計画（概要版）の電子データ及び冊子、印刷物、式典演技伴奏曲のデモ音源及び楽譜、式典演技振付イメージ（イメージ図及び映像）、式典演技の服飾、手具、用具等のデザイン試案

令和3（2021）年3月19日（金）

ただし、令和2（2020）年10月末を目処に中間報告を行うとともに、必要に応じ、随時情報提供及び意見交換を行うこと。

イ 式典音楽・・・「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会式典音楽制作仕様書」

2 成果品 のとおり

ウ 会議支援資料・・・甲が指定する日

(3) 成果品の内訳及び納品数

成果品の内訳及び納品数は以下のとおりとすること。また、次に掲げるア～サに掲げる電子データについては、CDまたはDVD±R（RW）に収録の上、それぞれ3枚ずつ納品すること。

ア 国体式典実施計画

電子データ（印刷用）及び製本した冊子 400 部

イ 障スポ式典実施計画

電子データ（印刷用）及び製本した冊子 400 部

ウ 冬季大会式典実施計画

電子データ（印刷用）及び製本した冊子 300 部

エ 式典実施計画（概要版）

電子データ（印刷用）及び印刷物 1 部

オ 会議支援資料

電子データ（印刷用※PDF形式・試聴用）

カ 式典音楽

「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会式典音楽制作仕様書」2 成果品 のとおり

キ 式典演技伴奏曲デモ音源

CD 3枚

- ク 式典演技伴奏曲楽譜
電子データ（楽譜表記が可能な楽曲のみ）
- ケ 式典演技振付イメージ（イメージ図）
電子データ（印刷用）
- コ 式典演技振付イメージ（映像）
電子データ（視聴用）
- サ 式典演技の服飾・手具・用具等のデザイン試案
電子データ（印刷用）

(4) 電子データの形式等

電子データの形式及び提出方法については以下のとおりとすること。

ア 成果品における電子データは、以下を基本とする。

文書・・・Word 形式及び PDF 形式（2つの形式でそれぞれ作成・納品すること）

計算表等・・・Excel 形式及び PDF 形式（2つの形式でそれぞれ作成・納品すること）

画像データ・・・JPEG 形式

音声データ・・・WAVE 形式（MP3 等の圧縮音源は不可とする。）

楽譜データ・・・PDF 形式

映像データ・・・MPEG2 形式（原則としてオーサリング済みとし、DVDプレイヤーで視聴可能とすること。）

なお、これにより難しい場合は、甲と別途協議すること。

イ 格納媒体はCDまたはDVD±R（RW）を基本とすること。また、収納ケース、CD等に委託年度および委託件名等を付記すること。

(5) 納入先

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局（競技式典課内 式典担当）

(6) 履行確認場所

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局（競技式典課内 式典担当）

(7) 全ての成果品については、式典専門委員会及び式典運営部会、式典音楽部会、式典演技部会の協議を経て完成させることとする。

(8) 成果品の納入後、内容に不備等があった場合は、速やかに乙の負担で修正等を行うこと。

9 著作権等

乙は委託業務に係る成果品の著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利

を含む。)を甲に無償で譲渡するものとし、著作者人格権に基づく権利を行使しないこととする。

なお、甲の解散後は、当該成果品の権利は、栃木県に継承されるものとする。

また、乙は成果品に係る全てについて、甲の承諾を得ずに第三者に公表、貸与及び使用させてはならない。

ただし、式典音楽の制作に係る成果品の著作権については、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会式典音楽制作仕様書」1(3)著作権等 のとおりとする。

式典実施計画掲載内容及び作成方法

1 いちご一会とちぎ国体式典実施計画

掲載内容	作成方法
(1) 概要	
ア いちご一会とちぎ国体の概要	「式典基本構想」を基礎として、大会名、大会愛称、スローガン、マスコット、イメージソングのほか、大会会期、総合開・閉会式の期日・会場、実施競技等について甲と協議の上、内容を記載する。
イ 式典の概要	「式典基本構想」を基礎として、式典テーマ、式典の基本的な考え方等について、甲と協議の上、内容を記載する。
(2) 総合開会式・総合閉会式共通項目	
ア 式典本部体制	会場配置図等を参考に専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議した内容を記載する。
イ 式典本部業務内容	
ウ 通信連絡システム計画	
エ 旗掲揚計画	
オ 炬火計画	<p>以下の基本的な考え方・炬火イベント基本方針に基づき、専門的、技術的なノウハウを生かし、市町で採火した炬火の集火方法から大会における納火についてアイディアの提案を行い、炬火イベントについて式典専門委員会、式典運営部会及び甲と協議の上、内容を記載する。</p> <p>(1) 基本的な考え方</p> <p>① 地域の歴史・伝統・文化を生かすことで、郷土意識を高める内容とする。</p> <p>② 子どもからお年寄りまで、幅広い年代の県民が参加することで、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に向けた機運を高める。</p> <p>③ 県民や選手の心に刻まれる内容となるよう、工夫する。</p> <p>(2) 炬火イベント基本方針</p> <p>① 炬火は、県内全市町で採火を行い、保管する。</p> <p>② 採火した炬火は、各市町が実施する催しで活用することができる。</p> <p>③ 炬火イベントは、多くの県民が参加できる内容とする。</p> <p>④ 実施にあたっては、簡素・効率化を心がけながらも、地域の特色を生かしたイベントになるよう、工夫を凝らしたものとする。</p> <p>⑤ 全市町で採火した炬火を一つに集火し、「いちご一会とちぎ国体」の総合開会式において炬火台に点火する。</p>

(3) 総合開会式	
ア 次第	専門的、技術的なノウハウを生かした時間短縮等の方策を検討し、甲と協議の上設定する。
イ 全体スケジュール	次第を基にスケジュールを設定する。
ウ 参加者スケジュール	次第及び会場配置図に合わせて、甲が提示する輸送等の考え方を考慮し、出演者、役員・選手団、観覧者、式典本部員の参加者スケジュールを設定する。
エ 会場配置図	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容を盛り込み、会場の使用について、ゾーニングする。
オ 動線計画	会場配置図のゾーニングを基に、甲と協議の上、出演団体別の控所の使用や出演者の動線を設定する。
カ 役員・選手団入退場計画	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、行進隊列、進行方法、整列等、効率的な入退場方法について甲と協議の上設定する。なお、役員・選手団の参集範囲は甲が設定する。
キ 映像計画	次第に合わせて、スクリーンに投影する映像の内容を設定する。
ク 式典音楽	使用曲の演出、音楽隊編成等について、式典専門委員会、式典音楽部会及び甲と協議の上設定する。
ケ 炬火の集火・入場・点火の演出	効果的な炬火の集火・入場・点火の演出方法についてアイデアを提案し、甲と協議の上設定する。
コ 荒天時計画	甲から指示のあった内容を記載する。
サ オープニングプログラム (構成・演目)	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容に基づき、構成や演目等を設定する。
シ エンディングプログラム (構成・演目)	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容に基づき、構成や演目等を設定する。
ス 式典前演技(演技テーマ、 演技構成、展開)	<p>以下の基本的な考え方にに基づき、専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、演技テーマ、演技構成、展開について、式典専門委員会、式典演技部会及び甲と協議の上、記載する。留意点についても考慮すること。</p> <p>(1) 基本的な考え方</p> <p>① 参加するすべての人が感動し、これから始まる「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」への期待感を高める演技構成とする。</p> <p>② 栃木県の自然や歴史・文化などを取り入れ、「栃木の魅力」を感じることでできる演技構成とする。</p> <p>③ 全国から来県した人々に「おもてなし」の気持ちが伝わり、参加するすべての人々が、「つながり」を感じることでできる演技内容とする。</p> <p>(2) 演技構成上の留意点</p> <p>① 「栃木の魅力」がわかりやすく伝わる構成とする。</p> <p>② 「いちご一会とちぎ国体」と「いちご一会とちぎ大会」の連携を図り、演出を共有する。</p>

(4) 総合閉会式	
ア 次第	専門的、技術的なノウハウを生かした時間短縮等の方策を検討し、甲と協議の上設定する。
イ 全体スケジュール	次第を基にスケジュールを設定する。
ウ 参加者スケジュール	次第及び会場配置図に合わせて、甲が提示する輸送等の考え方を考慮し、出演者、役員・選手団、観覧者、式典本部員の参加者スケジュールを設定する。
エ 会場配置図	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容を盛り込み、会場の使用について、ゾーニングする。
オ 動線計画	会場配置図のゾーニングを基に、甲と協議の上、出演団体別の控所の使用や出演者の動線を設定する。
カ 役員・選手団入退場計画	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、行進隊列、進行方法、整列等、効率的な入退場方法について甲と協議の上設定する。
キ 映像計画	次第に合わせて、スクリーンに投影する映像の内容を設定する。
ク 式典音楽	使用曲の演出、音楽隊編成等について、式典専門委員会、式典音楽部会及び甲と協議の上設定する。
ケ 炬火の分火・納火の演出	効果的な炬火の分火・納火の演出方法についてアイデアを提案し、甲と協議の上設定する。
コ 荒天時計画	甲から指示のあった内容を記載する。
サ オープニングプログラム (構成・演目)	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容に基づき、構成や演目等を設定する。

2 いちご一会とちぎ大会式典実施計画

掲載内容	作成方法
(1) 概要	
ア いちご一会とちぎ大会の概要	1 (1) ア に準じて大会名、大会愛称、スローガン、マスコット、イメージソングのほか、大会会期、開・閉会式の期日・会場、実施競技等について、甲と協議の上、内容を記載する。
イ 式典の概要	1 (1) イ に準じて式典テーマ、式典の基本的な考え方等について、甲と協議の上、内容を記載する。
(2) 開会式・閉会式共通項目	
ア 式典本部体制	会場配置図等を参考に専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議した内容を記載する。
イ 式典本部業務内容	
ウ 通信連絡システム計画	
エ 旗掲揚計画	
オ 炬火計画	1 (2) オ 炬火計画 に基づき、専門的、技術的なノウハウを生かし、大会における炬火入場から納火について、アイデアの提案を行い、式典専門委員会、式典運営部会及び甲と協議の上内容を記載する。

(3) 開会式	
ア 次第	専門的、技術的なノウハウを生かした時間短縮等の方策を検討し、甲と協議の上設定する。
イ 全体スケジュール	次第を基にスケジュールを設定する。
ウ 参加者スケジュール	次第及び会場配置図に合わせて、甲が提示する輸送等の考え方を考慮し、出演者、役員・選手団、観覧者、式典本部員の参加者スケジュールを設定する。
エ 会場配置図	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容を盛り込み、会場の使用について、ゾーニングする。
オ 動線計画	会場配置図のゾーニングを基に、甲と協議の上、出演団体別の控所の使用や出演者の動線を設定する。
カ 役員・選手団入退場計画	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、行進隊列、進行方法、整列等、効率的な入退場方法について甲と協議の上設定する。
キ 映像計画	次第に合わせて、スクリーンに投影する映像の内容を設定する。
ク 式典音楽	使用曲の演出、音楽隊編成等について、式典専門委員会、式典音楽部会及び甲と協議の上設定する。
ケ 炬火入場・点火の演出	効果的な炬火の入場・点火の演出方法についてアイデアを提案し、甲と協議の上設定する。
コ 荒天時計画	甲から指示のあった内容を記載する。
サ オープニングプログラム (構成・演目)	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容に基づき、構成や演目等を設定する。
シ エンディングプログラム (構成・演目)	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容に基づき、構成や演目等を設定する。
ス 歓迎演技(演技テーマ、 演技構成、展開)	1(3)ス 式典前演技 に基づき、専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、演技テーマ、演技構成、展開について、式典専門委員会、式典演技部会及び甲と協議の上、記載する。
(4) 閉会式	
ア 次第	専門的、技術的なノウハウを生かした時間短縮等の方策を検討し、甲と協議の上設定する。
イ 全体スケジュール	次第を基にスケジュールを設定する。
ウ 参加者スケジュール	次第及び会場配置図に合わせて、甲が提示する輸送等の考え方を考慮し、出演者、役員・選手団、観覧者、式典本部員の参加者スケジュールを設定する。
エ 会場配置図	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容を盛り込み、会場の使用について、ゾーニングする。
オ 動線計画	会場配置図のゾーニングを基に、甲と協議の上、出演団体別の控所の使用や出演者の動線を設定する。
カ 役員・選手団入退場計画	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、行進隊列、進行方法、整列等、効率的な入退場方法について甲と協議の上設定する。

キ 映像計画	次第に合わせて、スクリーンに投影する映像の内容を設定する。
ク 式典音楽	使用曲の演出、音楽隊編成等について、式典専門委員会、式典音楽部会及び甲と協議の上設定する。
ケ 炬火の納火の演出	効果的な炬火の納火の演出方法についてアイデアを提案し、甲と協議の上設定する。
コ 荒天時計画	甲から指示のあった内容を記載する。
サ オープニングプログラム (構成・演目)	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容に基づき、構成や演目等を設定する。
シ ファイナルステージ(構成・演目)	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容に基づき、構成や演目等を設定する。

3 いちご一会とちぎ国体冬季大会式典実施計画

掲載内容	作成方法
(1) 開始式・表彰式共通項目	
ア いちご一会とちぎ国体冬季大会の概要	1 (1) ア に準じて大会名、大会愛称、スローガン、マスコット、イメージソングのほか、競技会会期、競技会開始式、競技会表彰式の期日・会場、実施競技等について、甲と協議の上、内容を記載する。
イ 式典の概要	1 (1) イ に準じて式典テーマ、式典の基本的な考え方等について、甲と協議の上、内容を記載する。
ウ 実施本部体制	会場配置図等を参考に専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議した内容を記載する。
エ 式典本部体制・業務内容及び通信連絡システム計画	
オ 大会看板設置計画	
(2) 開始式	
ア 次第	専門的、技術的なノウハウを生かした時間短縮等の方策を検討し、甲と協議の上設定する。
イ 参加者スケジュール	次第及び会場配置図に合わせて、甲が提示する輸送等の考え方を考慮し、出演者、役員・選手団、観覧者、式典本部員の参加者スケジュールを設定する。
ウ 会場使用計画	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容を盛り込み、会場の使用について、ゾーニングする。
エ 参加都道府県旗入場・選手団紹介	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、入場方法、整列等、効率的な入退場方法について甲と協議の上設定する。
オ 式典音楽の概要	使用曲の演出、音楽隊編成等について、式典専門委員会、式典音楽部会及び甲と協議の上設定する。
カ 歓迎アトラクション・映像プログラム計画	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容に基づき、構成や演目等を設定する。

(3) 表彰式	
ア 次第	専門的、技術的なノウハウを生かした時間短縮等の方策を検討し、甲と協議の上設定する。
イ 参加者スケジュール	次第及び会場配置図に合わせて、甲が提示する輸送等の考え方を考慮し、出演者、役員・選手団、観覧者、式典本部員の参加者スケジュールを設定する。
ウ 会場使用計画	専門的、技術的なノウハウを生かした提案を行い、甲と協議の上、指示のあった内容を盛り込み、会場の使用について、ゾーニングする。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会式典音楽制作仕様書

1 内容

「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の式典で使用する楽曲を制作する。

(1) 制作内容

下記仕様に沿った楽曲を制作し、楽譜を作成する。

制作曲(演奏形態)	使用曲の構想
ファンファーレ (吹奏楽) または (吹奏楽+合唱)	「開式通告」「閉式通告」「開会宣言」「閉会宣言」「選手代表宣誓」のそれぞれの場面にふさわしい楽曲とすること。演奏時間はそれぞれの楽曲につき 20 秒程度とすること。
炬火関連曲 (吹奏楽+合唱)	「炬火入場・点火」「炬火分火・納火」のそれぞれの場面にふさわしい楽曲とすること。また、演奏時間の調整ができる楽曲とすること。
入退場行進曲 ①②③④⑤ (吹奏楽) または (吹奏楽+合唱) ⑥打楽器	入退場の行進の場面にふさわしい楽曲とすること。以下の内訳により複数曲を制作し、演奏時間の合計は 25～30 分程度とする。 【内訳】※タイトルは仮名 ① 「2022 国体記念行進曲」 ② 「いちご一会」マーチ ③ 栃木ゆかりの曲メドレー I (童謡、民謡等) ④ 栃木ゆかりの曲メドレー II (ポップス等) ⑤ 栃の葉国体使用行進曲「ふるさと栃木」 (※作品の使用交渉及び浄書を行うこと) ⑥ 「ドラムマーチ」30 秒程度 中継ぎ、時間調整用マーチ

(2) 制作にあたっての留意事項

- ① 楽曲制作にあたっての詳細については、事前に甲と別途協議すること。
- ② 楽曲の制作にあたっては、甲の指定する者を起用し、全て乙の費用負担と責任で連絡調整を行うこと。
- ③ 編曲に必要な許諾の手続きを全て乙の費用負担と責任で行うこと。
- ④ 作曲家・編曲者ととともに令和 3 (2021) 年 2 月実施予定の式典音楽試奏会に出席し、第 1 次成果品の検証を行い、必要に応じて作品の手直しを、全て乙の費用負担と責任により行うこと。
- ⑤ 式典専門委員会及び式典音楽部会の意見等を踏まえ、楽曲を制作すること。

- ⑥ 吹奏楽隊の楽器編成については、3フルスコアにおける楽器編成を基本とし、そのパートに従って一段ずつ五線譜に記載すること。
- ⑦ 合唱については、基本的に混声四部合唱とし、ピアノ伴奏譜の作成にあたっては合唱とピアノ伴奏の楽譜を併記すること。
- ⑧ 各楽器、各声部の音域や特性に留意しながら作品を完成させること。

(3) 著作権等

本契約による音楽著作物（新たに作曲する楽曲及び既存曲を編曲した部分の権利のことをいうものとする。以下「音楽著作物」という。）の著作権については、甲が以下に定めるとおり使用できるよう、乙は権利処理を行うこと。

- ① 音楽著作物の著作権については、甲及び甲の指定する者が令和4（2022）年度末までに行ういちご一会とちぎ国体・とちぎ大会に関する全ての活動に、その媒体を問わず、独占的に、別途対価を払うことなく、かつ支障なく利用できるよう、全て乙の費用負担と責任により、その権利処理を行うこと。
- ② 音楽著作物は、①の目的の範囲内において、別途第三者との契約により音楽著作物の楽譜制作及び演奏録音、並びに当該楽譜及び録音物の複製及び無料配布ができるよう、全て乙の費用負担と責任によりその権利処理を行うこと。
- ③ 音楽著作物の著作者人格権については、著作者（その著作権者を含む。以下、同じ）に行使させないようにすること。
- ④ 音楽著作物の著作権のうち甲及び甲の指定する者が令和4（2022）年度末までに行ういちご一会とちぎ国体・とちぎ大会に関する全ての活動に、その媒体を問わず、独占的に、別途対価を払うことなく、かつ支障なく利用できる権利及び本仕様書に記載するその他の権利以外は、著作者に留保されるものとする。
- ⑤ 著作者が、成果物についていちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のイメージを損ない、また傷つけるような使用をさせないことを乙は約すこと。
- ⑥ 甲及び甲の指定する者が、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会に関して利用する限りにおいて、著作者の写真並びに経歴その他の資料を、別途対価を払うことなく使用できるよう、全て乙の費用負担と責任により権利処理を行うこと。
- ⑦ 甲及び甲の指定する者は、音楽著作物の使用に際し、その著作者、その他乙の指定する表示を掲載することができるものとする。この場合において、表示内容に必要な許諾は、全て乙の費用負担と責任により得ること。
- ⑧ 音楽著作物以外の成果物の著作者人格権について、乙は将来に渡り行使しないこと。また、乙は、本作品の制作に関与した者について著作権を主張させず、著作者人格権についても行使させないことを約すこと。
- ⑨ 最終成果品提出後も、令和4（2022）年度末までに、時間短縮等の軽微な手直しが生じた場合には、再修正が行えるように権利処理を行うこと。
- ⑩ その他、本項により難しい場合や著作権等で疑義が生じた場合は、別途協議の上

決定するものとする。

2 成果品

成果品の納期、納品数及び納品方法は以下のとおりとする。

(1) 第1次成果品

甲が指定する日時（令和2（2020）年11月末を予定）までにフルスコア及びパート譜各1部（合唱譜は練習用のピアノ伴奏譜付きとすること）を電子データ（PDF形式）で提出すること。また、制作した楽曲を仮録音したもの（以下「デモ音源」という。生楽器による演奏でなくともよい）をCD（WAVE形式）に収録し提出すること。なお、デモ音源の仕様については、甲と協議の上決定するものとする。

(2) 第2次成果品

試奏会において第1次成果品の検証を行い、必要な手直しを行った上で、令和3（2021）年3月19日（金）までに最終成果品として、フルスコア及びパート譜各1部（合唱譜は練習用のピアノ伴奏譜付きとすること）を電子データ（PDF形式）で提出すること。

3 フルスコアにおける楽器編成

Piccolo	B♭ Trumpet I・II・III
Flute I・II	F Horn I・II・III・IV
Oboe I・II	Trombone I・II・III
Bassoon I・II	Euphonium
E♭ Clarinet	Tuba
B♭ Clarinet I・II・III	String Bass
E♭ Alto Clarinet	Percussion I・II・III・IV・V・VI
B♭ Bass Clarinet	【Chorus】
E♭ Alto Saxophone I・II	・Soprano ・Alto
B♭ Tenor Saxophone	・Tenor ・Bass
E♭ Baritone Saxophone	※混声四部合唱を基本とする

注1 Percussionについては任意とする。

注2 上記以外の楽器の導入については、事前に甲と協議すること。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会式典音楽試奏会仕様書

1 内容

「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の式典で使用するため、作曲・編曲を行った楽曲を実際に演奏し、検証を行う試奏会を実施する。

(1) 試奏会で検証を行う楽曲

式典音楽として新たに作曲・編曲を行った楽曲とする。

【参考】

制作曲（演奏形態）	使用曲の構想
ファンファーレ （吹奏楽）または （吹奏楽+合唱）	「開式通告」「閉式通告」「開会宣言」「閉会宣言」「選手代表宣誓」のそれぞれの場面にふさわしい楽曲とすること。演奏時間はそれぞれの楽曲につき 20 秒程度とすること。
炬火関連曲 （吹奏楽+合唱）	「炬火入場・点火」「炬火分火・納火」のそれぞれの場面にふさわしい楽曲とすること。また、演奏時間の調整ができる楽曲とすること。
入退場行進曲 （吹奏楽）または （吹奏楽+合唱）	入退場の行進の場面にふさわしい楽曲とすること。

(2) 演奏団体（吹奏楽隊、合唱隊）は甲と協議の上決定すること。

(3) 作曲者・編曲者が試奏会に必ず立ち会うこととし、必要に応じて楽曲の調整を行うこと。

2 実施時期、場所及び時間

(1) 実施時期：第 1 次成果品の提出以降とし、甲と協議の上決定する（令和 3（2021）年 2 月を予定）。

(2) 実施場所：甲と協議の上決定する。

(3) 実施時間：甲と協議の上決定する（概ね 6 時間程度）。

3 実施経費

演奏団体の移動、楽器輸送、会場使用料及び機材使用料、作編曲者の立ち会いに要する経費については、全て乙が負担すること。

4 演奏団体の構成

概ね以下のとおりとする。

(1) 合唱団 50 名以上

(2) 吹奏楽団 50 名以上

(3) 合計 150 名以内

5 その他

実施に係る詳細については、甲と協議の上決定すること。